

土居昌弘の大分県議会議員活動報告

羽ばたき

あけまして
おめでとうございます。

平成25年
新春号

編集：暮らし考房「もやい」 発行：土居昌弘
土居昌弘連絡事務所 〒878-0005 竹田市挾田670番地
TEL 0974-62-4848 FAX 0974-63-0124
<http://www.doi-masahiro.jimusho.jp/>

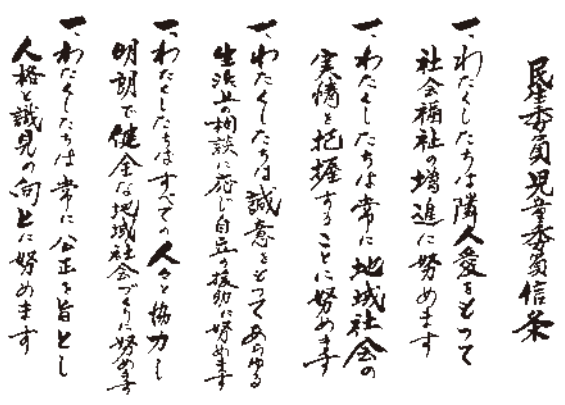
支え合う竹田市づくり—「民生委員の減少」を乗り越えて

①地域のニーズキャッチャー役 ②行政のパートナー役 ③市民と要支援者のつなぎ役 ④地域福祉の提案・先導役。これは高崎健康福祉大学の金井敏教授が第81回全国民生委員児童委員大会で話した、民生委員児童委員の求められる姿です。

大会は10月18日・19日の2日間、大分市と別府市で開催されました。この大会では、竹田市民生委員児童委員協議会の福田光明会長が「災害時要援護者支援活動の推進～要援護者支援のための関係機関・団体との連携・協働～」と題して、7月に竹田市を襲った大水害で、民生委員児童委員がどのような活動をしたかを発表されました。

緊急時での要援護者の対応。竹田市ボランティアセンターへの応援（民生委員児童委員で延べ130名を動員）。皆さん方の献身的な活動が伝わってきました。

しかしながら、この民生委員、竹田市では減少の一途をたどっています。民生委員児童委員の任期は3年です。姫岳地区には4名の民生委員がいましたが、平成19年度の改正で3名に。平成22年度の改正では、入田地区の4名が3名に。これは国の基準で民生委員は120世帯に1名とありますので、過疎が進めば減少して



いくのです（表1参照）。地域福祉の担い手の減少と過疎高齢化の課題。私達には、この難題が突き付けられています。

では、どうしたら。民生委員法の補完を政府・行政に求めていくのは当然のことではありますが、即時の対応が求められています。

まずは、連携力を高めていきましょう。琵琶湖のある大津市雄琴では「誰もが安心できるまちづくり」の視点から地域ケア会議を組織し、行政、社協、そして民生委員児童委員が連携を密にして、福祉のまちづくりを推進しています。竹田市ならばそこに、暮らしのサポートセンターが加わることも考えられます。

福田会長のおっしゃる「連携と協働」。この考えによって、今ある資源を活かした地域づくりを進め、支え支えられる「お互い様」の関係を築いて、私達の課題を乗り越えていきましょう。

	H16改選	H19改選	H22改選	H25改選
の民生委員 人数	91	90	89	88 (予定)

※表1：竹田市の民生委員の人数



被災現場の要望とボランティアとを適格に結び付けた(竹田市ボランティアセンター)



●大分県議会 平成24年 第4回定例会

土居昌弘一般質問

11月27日(火)に開会の大分県議会平成24年第4回定例会の一般質問に登壇しました。質問の冒頭に「竹田市の災害復旧ならびに復興に力を！」とお願いして質問に入りました。

こちらでは、その一部を紹介します。

種雄牛造成の改革を

(土居質問)

長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会。全国38道府県から出品された代表牛480頭が日本一の座を競った。

審査の結果、大分県は総合で3位という好成績。しかしながら、肉牛部門は上位入賞とはいかなかった。この対策を考える上で、種雄牛造成はどうある



◀優等賞を獲った大分県の代表牛「もりうめ号」と森田孝之さん、孝子さんご夫妻(直入町)

10月25日～29日に約49万人が訪れた第10回全国和牛能力共進会▶



べきか。

(農林水産部長答弁)

上質の枝肉をいかにつくるかが課題。今後はより一層、生産者や購買者などの意見を伺いながら、市場性のある種雄牛の造成に努めていく。

障がい者の賃金向上



地域の方々のお役に立つよこび！稲刈りをする「やまなみ」のみなさん

(土居質問)

県は平成20年に「大分県障がい者工賃倍増5カ年計画」を作成。障害者福祉施設での一人当たりの平均賃金は、平成18年度13,489円。これを平成23年度に27,000円にすると謳った。しかし、平成23年度の実績は14,462円。この見解は。

(福祉保健部長答弁)

深く反省している。今後は企業的経営手法の導入

や営業ノウハウを学ぶ研修の実施、さらには、共同受注できる仕組みづくりを進めていく。

(土居要望)

賃金を向上させて障がい者が自立した生活を送るために、行政が手助けするのはよくわかる。

しかし、障害者福祉施設は、あくまでも福祉施設。賃金向上至上主義となり、福祉の世界に負担が生じる恐れもある。工賃向上施策が、その人の豊かな生き方と結びつくことが大事。配慮して。

大蘇ダム対策

(土居質問)

大蘇ダムの漏水問題。9月に国から「ダムの浸水対策工事は県負担が伴う国営事業でしたい」と説明を受けた。今後の県の方針と、竹田市の負担軽減策の対応は。

(知事答弁)

- ①国がダムの早期完成の方向性を示す
- ②浸水対策工事の工法は十分に検証する
- ③将来の維持管理費が増加しない

以上3点について国と協議を進めたが、一定の方向性を見いだせたので、対策工事に伴う新たな県負担についても受け入れたい。また、完成後の維持管理に関する竹田市の負担軽減策についても、竹田市と一緒に国に要望していく。

中九州横断道路の今後



大野～朝地間は平成26年度供用予定。早く竹田、荻、熊本県へ。

(土居質問)

11月に大分、熊本両県の知事並びに議長がそろって国土交通省に中九州横断道路の早期整備に向けた

要望活動を行った。熊本県知事とともに要望した意図は。

(土木建築部長答弁)

まず県としては、現在事業中の大野～竹田間の早期完成と、竹田～県境間の事業化に向けた区間指定をお願いした。

また、7月の九州北部豪雨により阿蘇市滝室坂で国道57号が被災し、通行止めによって社会生活に大きな影響が出た。これを受け、滝室坂付近に中九州横断道路にも活用可能な形で災害に強い道路を整備するよう、熊本県側と連携して要望した。

県立美術館とまちづくり

(土居質問)

現在、別府市、国東市、竹田市で、アートを使ったまちづくりが行われている。また、そこに地元商店街が絡んでいるケースもある。新しくできる県立美術館と、それぞれの地域でのまちづくりをどのように結び付けるのか。

(企画振興部長答弁)

県の総合文化センターでは、このクリスマスにイベントを企画。県内の公立文化施設と連携して、アートや音楽、ダンス、演劇等を開催する。そして、その来場者を地元の商店街に誘客する取り組みをする。今後も美術館と総合文化センターから、芸術文化とまちづくりの連携を広げていきたい。



県立美術館設計者の坂茂氏と協議

(土居要望)

これから県立美術館の建設に入る。「美術館とまち」という視点から、全体的効果をいかに向上させていくかも大事。建物は「まちに開かれた美術館」。その機能もまちに開いていって欲しい。

県立高校の定員の5%以内ならば、県外からの入学を認める。県外からの入学については、このほかの要件はなし。—これはお隣の熊本県の話です。

竹田市は、熊本県と宮崎県に接しています。ですから、その昔は隣県からの竹田高校生をよく見かけたそうです。実際、調べてみますと、昭和50年頃まで竹田高校には県外者が多くいました。

しかしながら、今現在は、大分県の高校入学者選抜実施要項により、県外からの志願者の家族は「大分県へ引っ越すこと」が条件になっています。ですから去年、竹田高校の入学説明会に参加していた産山の保護者は、その条件がどうしてもクリアできず、竹田高校への志願を断念されました。

ところが、ここ大分県でも、中津市と日田市では県外隣接地（中学校を指定）からの志願を条件なしで受け付けています。中津市では今、県外隣接中学校から入学した高校生が32名も。これは大分県教育委員会の「隣接地域からの志願に関する許容」の取



「♪戦い勝てり美酒（うまざけ）を」ストームで一つに！（竹田高校）



野焼きの体験実習（三重総合高校久住校）

り決めがあるからです。

他県との隣接地である竹田市で、なぜこれがないのでしょうか。久住の一部は肥後藩。萩には多くの阿蘇出身の方々がいます。竹田の商圈は阿蘇地方まででした。つまり、私たちは同じ「阿蘇・くじゅう」「祖母・傾」のふもとで暮らしているのです。

そこで、竹田市の県立高校が隣接地域から要件なしで志願を受け付けられるようにする、もしくは、熊本県とならば「定員の5%まで」と条件を同じにするなどして、この素晴らしい環境と伝統のもとで「高校教育を受ける」という機会を広げてみてはどうでしょうか。そしてそうすることによって、必ず学校の特色はさらに強調されていき、個性と魅力のある学校づくりができていくのではと考えています。と同時にこのことは地域の活性化にもつながっていくのです。

※ちなみに平成24年10月1日現在の竹田市の中学3年生の人数は187名。中学2年生は130名。

復旧工事の進捗状況

7月12日の大惨事。竹田市の観測史上最大の雨量を記録した九州北部豪雨は、市民のいのちと暮らしに甚大な被害を加えました。改めまして心からお見舞い申し上げます。

県は現在、全力を挙げて竹田市の復旧・復興にあたっています。8月15日に激甚指定を受け、竹田土木事務所では9月から11月2日まで国の災害査定。被災した道路や河川等は査定を受け、緊急度の高い箇所から復旧工事を実施しています。その災害査定箇所：157箇所、査定金額：約51億2000万円。

また、豊肥振興局の竹田市管内の農地農業用施設災害は、10月から査定に。12月中には終わる予定です。12月7日現在で、査定箇所：1,194箇所（1,970工区）、査定金額：約16億9440万円。査定が終了しだい、発

注用設計書への組み替えを行い、入札、工事となります。

市民の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしておりますが、公金を使うがために時間がかかっております。できる限り早く工事に取り掛かっていきますので、何卒ご理解下さいますよう、お願い申し上げます。



本格工事中の魚住橋

大野川(岩本)

滝水川(南河内)

玉来川(川床)

急ぎます!